

平成30年度学校評価実施計画

学校名 大分県立別府鶴見丘高等学校

前年度評価結果の概要	<p>○学力向上については、国公立大学合格者が150名を超えた。最難関、難関の目標値には及ばなかったことから、来年度に向けて生徒の学力を高めるために一層の取組を推進する。</p> <p>○生活指導については、目標の達成は成ったが、あいさつや清掃・教室環境の整備等は継続して取り組み、生徒の規範意識等の向上に努める。</p> <p>また、仲間作りや授業改善等を計画的に行うことで、生徒の欠席の少ない学校作りに取り組む。</p> <p>部活動については、体育部・文化部とも、昨年同様大きな成果を残した。学習との両立については、課題を残していることから、来年度の重点課題として取り組んでいく。</p> <p>○オープンキャンパスでは多くの参加者を集め、本校の魅力を十分に伝えることができた。PTAとは良好な連携がとれており、今後も連携して活動を進めていく。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
学力と人間性を兼ね備えたタフな鶴高生を育成する。	<p>○授業力を向上するとともに自らの学習の計画・見直しができる生徒を育成することにより、学校が掲げる大学数値目標の達成を図る。</p> <p>○規範意識・人権意識を高揚するとともに、部活動・生徒会活動を一層活性化させる。</p> <p>○家庭・地域等に積極的に情報発信することにより、大学(特に難関大学)進学を希望する本校志願者を確保する。</p>	<p>○学力向上・進路達成に向けた学習指導及び進路指導体制の充実</p> <p>○生活指導の徹底、人権教育・道徳教育の充実及び生徒会活動・部活動のさらなる活性化</p> <p>○地域に開かれた学校づくりの推進</p>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
学力向上・進路達成に向けた学習指導及び進路指導体制の充実	<p>○平日の家庭学習時間のクラス平均を3時間以上にし、2時間未満の割合を20%以下にする。</p> <p>○模試学習到達ゾーンで、B3以上9割、S3以上15名を目指す。(目標:国公立大学最難関2名、難関20名、総数150名)</p>	<p>○教員の授業力を向上させるとともに、「生徒がわかる授業」「考える力を育てる授業」を全職員で実施する。</p> <p>○自立した学習者を育成するための指導の充実を図る。</p> <p>○キャリア教育と大学入試新テスト導入の観点から総合的な学習の時間の充実を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育む授業を実践する。</p> <p>○難関大学希望クラスの指導の充実を図る。</p>	<p>○互見授業と生徒対象の授業アンケートを年2回実施し、授業改善を行う。</p> <p>○研究授業を各教科で実施し、教科指導力の向上を図る。</p> <p>○手帳(ティー帳)を活用し、生徒自らが学習の計画・見直しを行う力を育成する。(PDCAサイクルの確立)</p> <p>○学習習慣の確立を図るため、学習時間調査で生徒の学習状況を把握し、教科指導・面談等に活かす。</p> <p>○生徒の進路選択を支援するための行事を充実する。 1年:職業人講話(7月)、湯の町探究プロジェクト 2年:志望大学のオープンキャンパス参加(8月)、卒業生等による合格体験談(3月) 3年:希望進路の学問分野に関する課題研究(4~9月)</p> <p>○大学入試新テストに対応するATの問題作成・結果分析と授業改善実践をリンクさせる。</p> <p>○大学入試総括会議、大学入試問題研究・報告会、対外模試結果検討会(各学年)を実施し、その成果を各授業担当者が徹底して実践する。</p> <p>○教科会議等でAT問題の検討を実施し、思考力・判断力・表現力を問う良問を出題する。</p>	<p>PL:教務主任 SL:主幹教諭・指導教諭・教科主任</p> <p>PL:教務主任 SL:進路指導主任 教科主任 学年主任</p> <p>PL:進路指導主任 SL:教務主任 学年主任</p> <p>PL:進路指導主任 SL:教務主任 教科主任 学年主任</p>
生活指導の徹底、人権教育・道徳教育の充実及び生徒会活動・部活動のさらなる活性化	<p>○挨拶と自転車乗車についての自己評価3.3以上を目指す。</p> <p>○心身の安定を図り、多欠席生徒数の減少を目指す。</p> <p>○部活動入部率75%以上、部活動満足度80%以上を目指す。</p>	<p>○日常の全職員による生徒指導及び学校行事とおして規範意識の定着を図る。</p> <p>○やさしく、タフな生徒を育てる指導を強化する。</p> <p>○生徒会活動・部活動の時間の確保と短時間集中型練習・活動を工夫する。</p>	<p>○規則の遵守およびマナー・モラルの向上を図るため、教職員に対して統一した基準を示す。</p> <p>○関係機関と連携した指導・講演会等を実施する。</p> <p>○生徒会と協力して、あいさつ運動や登下校指導を毎月実施(PTAと連携した登校指導年3回実施)。</p> <p>○人権意識を高めるための講演会・研修を生徒教職員ともに全校で実施する。</p> <p>○教育相談に関する職員研修を充実させ、多欠席者が相談しやすい環境整備を行う。</p> <p>○部活動終了後、19:30完全下校を徹底する。</p> <p>○生徒会活動が全体に見えるような方策を立てる。</p>	<p>PL:生徒指導主任 SL:学年主任 特別活動主任</p> <p>PL:保健・教育相談・特別支援教育主任 SL:人権教育主任、特別活動主任</p> <p>PL:特別活動主任 SL:学年主任</p>
地域に開かれた学校づくりの推進	<p>○大学(特に難関大学)進学希望の中学生が入学を希望する高校としての存在感を確立する。</p> <p>○PTA総会の出席率80%以上、学年保護者会の出席率70%以上を目指す。</p> <p>○ホームページを毎日(学期中平日)更新する。</p>	<p>○中高連携を一層推進する。</p> <p>○家庭、PTA等との連携を強化する。</p> <p>○家庭・地域への情報発信を推進する。</p>	<p>○中学生の夢や希望が実現できる高校であるとPRするために、オープンキャンパスの内容を充実させる。</p> <p>○学年保護者会を充実させ、学校と家庭との協力体制を強化する。(学年保護者会の出席率を上げるために、内容の見直しを行い、保護者への案内を学年で検討する。)</p> <p>○ホームページ制作の研修を行い、分業体制を充実させる(各分掌・学年からの積極的な記事・写真の提供を図る)。</p> <p>○ホームページで様々な情報を発信し、内容の充実を図る。</p>	<p>PL:教務主任 SL:主幹教諭 特別活動主任</p> <p>PL:総務主任 SL:学年主任</p> <p>PL:情報・図書主任 SL:教頭</p>